世界児童画展(2024)

のびのびとした表現活動

～世界児童画展で園児のみなさんが大活躍！！～

世界児童画展とは…

（公財）美育文化協会の主催で、1970年万国博覧会を機にスタートした児童作品の展覧会です。子どもたちの感性と理性の調和のとれた成長を願い、子どもが自ら創り出す造形文化の推進支援と、国を超えて世界の人々をつなぐ国際相互理解を目的として開催されています。

2025年（令和7年）3月22日（土曜日）　読売

あすなろ第２保育園 団体賞

世界児童画展

読売新聞社賞1点、特選1点、入選6点

第55回世界児童画展（美育文化協会主催、読売新聞社など後援）の入賞者が決まった。県内からは、出雲市白枝町、「あすなろ第2保育園」の園児が読売新聞社賞に1点、特選1点、入選6点に輝き、同園は優れた作品が多かったとして都道府県団体賞に選ばれた。

読売新聞社賞に選ばれた渡部穂香ちゃん(6)＝写真上＝は園庭での鬼ごっこを題材に、「お友だちと追いかけっこ」を描いた。天気のよい日に友達と走った思い出を、水のりと様々な色の土を混ぜた画材でダイナミックに表現した。「混ぜる色が色々あるから楽しい」と喜んだ。

特選の土橋祐翔ちゃん(6)＝写真下＝は、市内の公園に親子遠足で訪れた時の様子を「公園ですべり台をしたよ」と作品にまとめた。自身がすべり台を楽しむ様子を画用紙の中央にし、見守る両親も描いた。「ぐるぐるの滑り台や階段、揺れるはしごなどを描きました」と話した。

◇

同園は系列のあすなろ保育園と共に、情操教育の一環として段ボールや菓子の空き箱を使った造形遊びに力を入れる。また、「絵の手紙」と名付けて描きたいものを描き、職員や家族に自身の思いを伝えられるようにしている。自然とアイデアを生み出す力、自己を表現する力を育めるように取り組む。

読売新聞社賞に選ばれた渡部穂香ちゃんの「お友だちと追いかけっこ」

都道府県団体賞
『島根県　あすなろ第２保育園』
読売新聞社賞（特別賞）１点
特　選　１点
入　選　６点　受賞しました！！

特別賞『お友だちと追いかけっこ』（５歳児）

【土絵の具】

園庭のさまざまなところから土を集め、ふるいで不純物を取り除き、水干をしました。土に水と水のりを１：１で混ぜ合わせ完成した土絵の具！

特選　『公園ですべり台をしたよ』（５歳児）